

第 161 号

あおもり 町連だより

平成 14 年 1 月 発行
青 森 市 町 会 連 合 会
T E L 017 (734) 2 5 8 4

町会活動の活性化を支援

来年の『町連50周年』に準備

謹んで新年（平成14年・二〇〇二年）のお慶びを申し上げます。

平素、町会長はじめ町会員の皆様には、町会連合会の事業運営にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は町会にとって21世紀の幕明けにふさわしい年でありました。

長年にわたり多額の費用負担が課題となってきた街路灯の維持管理が昨年4月、所有権を市に移管し、市

ごつ
のさ
のい
年新あ



佐藤 久雄
連 合 会 長

が全面的に維持管理する歴史的転換が行われ、新世紀への新たなスタートとなりました。

先達の長年のご努力の賜であり、各位に深く感謝するとともに、市のご英断に深甚な敬意を捧げます。

また、同4月から始まった資源ごみ分別収集へのご協力をはじめ、町会活動の要とされる地域住民の心のふれあい・支え合いを基軸とした多様なコミュニケーション活動などに献身的ご活動をされている皆様のご苦勞に對し、心から敬意を表します。

お陰様で平成13年度の町会連合会

事業も、おおむね順調に推進することができました。

時代の進展とともに地域社会を取



明けまして おめでとう ございます

12月2日オープンした国際芸術センター青森

り巻く環境が大きく変化し、コミュニケーション活性化に向けた多様な町会活動の展開が期待されます。このため町会連合会としても市との連携を密にしながら、更なる支援について検討したいと考えております。

その一つは、町会長の活動中における事故等に対する保障制度を確立

できないか。

その二は、全町会長を対象とした研修を実施できないか。

その三は、連合体としての組織の活性化と、ローカル情報を提供しながら各町会活動の活性化につなげることができないか。

ーについてを検討課題とし、各位が町会活動をしやすい環境づくりを進めて参りたいと意を強くしているところであります。

併せて、平成15年に迎える当町会連合会創立50周年の記念事業に対し諸準備を進めて参ります。

平成14年が町会長、町会員皆様にとって良き年となりますよう、心から祈念いたします。

五町会長が受賞

平成13年度市表彰

平成13年度の青森市表彰の表彰式が11月2日(金)ホテル青森で行われ、長年にわたり町会長として市勢発展に功績のあった次の5氏が、地方自治功勞で表彰されました。

おめでとうございます。

- ▽鹿内 健吉（前・博労町町会長）
- ▽千葉勝次郎（堤橋町会長）
- ▽山本 基（西上古川町会長）
- ▽福田 久蔵（桑原町会長）
- ▽柿崎 繁（石江高間町会長）



各部会とも 順調に実施

市町連の13年度事業

平成13年度・市町連事業の11月末までの実施状況が12月10日の常任理事会に「順調である」と報告され、検証が行われました。

各部会ごとのおもな事業の実施状況は次のとおりです。

〔総務部会〕

◇理事・部会員合同研修会 10月5日(金)に文化会館で、市町連として初めて青少年の健全育成問題を取り上げました(別稿参照)。今後も広く各町会長への研修テーマとすべきと考えております。

◇青函交流研修会 10月23日(火)・24日(水)、酸ヶ湯温泉で「今後の交流のあり方」をテーマに開き、平成14年度からは1年置きで交互開催することになりました(3面参照)。

〔建設部会〕

◇街路灯の維持管理 平成13年度から町会管理の街路灯の所有権を市に移管し、市の全面管理が実現しましたが、11月末現在で灯具の修理は申請に対し97・7%完了しました。

しかし、新設は13年度は申請の61%でいどしか設置できない見通しと

のこと、灯具修理の期間短縮と併せ要望に沿って新設するよう、市へ働きかけます。

〔交通安全・防犯部会〕

◇市民運動 地区連合町会など中心の交通安全決起大会・パレードの実施団体が、12年度より3団体ふえて15団体となりました。市町連は実施団体に助成金を交付し、運動を支援しております。

◇環境整備(危険個所の調査)

交通事故防止のため13年度の各町会から出された改善要望は①ロードミラーの設置 58件・38町会 ②道路補修 25件・28町会 ③信号機・標識設置 28件・25町会の計161件。6月1日に市へ改善要望書を提出、市では7月12・13の両日、市町連立合いで診断を実施、その結果を8月22日付

で関係町会へ通知、関係機関に働きかけ、改善が進められています。

〔環境衛生部会〕

◇ごみ分別の市民モラル向上推進 4月から始まった資源ごみ分別収集は、おおむね順調に行われていますが、一部にルールが守られていない収集場所が見受けられます。降雪期を迎えるに当たり、市町連

と市は「ごみ出しのルールを守りましょう」のチラシを毎戸に配布して協力を呼びかけました。

〔福祉部会〕

◇冠婚葬祭合理化運動の推進 6月15日付で地区連合町会長および関係業者へ、合理化の具体的内容を文書で配布、協力をお願いしました。市町連では供花用ポスター(1枚250円)を提供しております。

“子育ては地域みんなで”

青少年健全育成で研修会

平成13年度の理事・部会員合同研修会が、10月5日(金)午後1時30分から市民文化会館で、64人が出席して開かれ、町連として初めて「青少年の健全育成」問題を取り上げて研修しました。

初めに佐藤久雄・町会連合会長が「平成14年度から小中高校が完全週休2日制となり、青少年の地域社会で過ごす時間がふえるので、その健

全育成のため町会など地域社会が、どのように対応すべきか研修したい」とあいさつをしました。

これに対して講師の青少年育成青森県民会議専門指導員・川村博信氏が「次代を担う青少年の健全育成と地域の役割」と題して次のように述べ、家庭、学校以上に地域・町会の役割の重要性を強調されました。

「現代の子供たちは少子化・核家

◇保健事業への協力 介護の仕方体験研修会を 浪打町会(6月27日・元氣プラザ、参加者20人) 上三上町町会(7月6日・久須志福祉館、同18人) 新奥野第2町会(11月2日・藤聖母園、同30人) で実施。今後とも多くの町会で研修の場を持つよう呼びかけます。

〔女性部会〕

◇花いっぱい運動 6月6日(水)に松木屋とビブレ前で、道行く市民にマリーゴールドなどの花苗800本をプレゼント、街を花いっぱいにしなうと呼びかけました。今後とも継続したいと考えております。

◇女性の集い 第24回「町内女性の集い」を11月9日(金)文化会館で開催しました(4面参照)。

族化によって対人関係が未熟で、他人の感情を無視し、無礼・わがままである。バランス感覚のとれた人間として育成するため、地域の人々が「おじさん、おばさん運動」として他人の子供でも叱る・ほめるなどの関わりを持ち、地域の子供は地域みんなで育てよう

講演のあと事務局から町連上期の事業報告があり、講師を囲んで「町会の子供会を育成し、子供たちを町会活動に積極的に参加させ、明るい街づくりに努めよう」など、意見を交わし、懇談しました。

10件余の新規事業導入

市の13年度除排雪事業計画

青森市主催の除排雪説明会が11月15日(休)県教育会館で開かれ、市町連から正・副会長、地区連合町会長ら約50人が出席しました。

市側から13年度の雪対策について昨年度の豪雪を教訓に総合的見直しを行い、モニター制度の採用やハザードマップ作成など10件余の新規事業を設けたなど、次のように説明しました。

▽モニター制度Ⅱ市政モニターか

福島市町連と意見交換会

福島市町内会連合会の役員ら27人が10月17日(水)来青し、青森市町連の正・副会長、常任理事ら12人と、しあわせプラザで「住民自治組織の現状と課題」をテーマに意見交換会を開きました。

佐藤久雄・青森市、吾妻久男・福島市の両町連会長あいさつのあと、青森市が現状と課題を説明、両市町連が抱えている課題として①市からの補助金②事業部会③青少年健全育成④冠婚葬祭の合理化への各取組み⑤町連広報紙の編集⑥共同募金、市広報紙の配布への町会長の関わりなどについて、活発に情報、意見を交換しました。



青函両市町連

交流研修会は隔年開催へ

ら積雪路面状況、車の通行状況などの情報を集め除排雪の効率化を図る。
▽ハザードマップの作成Ⅱ道路状況、地域別の降雪状況、一人暮らしの高齢者世帯個所などの情報を住宅地図に記し、迅速・効率的な除排雪に活用する。
▽ごみステーション対策Ⅱ収集小屋のない収集場所に除雪車が寄せ雪をしない目印として、黄色の旗のついたポールを市が配布する。
▽全面委託工区Ⅱ除排雪委託業者

が自主判断で機動的に除排雪する全面委託工区を、昨冬の71工区から121工区に拡大する。

▽市民の雪寄せ場Ⅱ住宅密集地内の空き地を無償で町会に貸し、市民の雪寄せ場として提供した土地所有者の固定資産税を減免する。

これに対して市町連側から、ごみ収集場所への雪寄せ、通学路・歩道の除排雪、不法駐車取締まりの強化や除排雪業者への指導徹底などを要望、市側は善処を約束しました。

ごみ収集場所の目印旗を配布

市町会連合会は、除雪のさい、ごみ収集場所の目印として青森市から提供された黄色の旗のついた白赤だ

青森・函館両市町会連合会は、ツイン盟約締結以来12回目の交流研修会を10月23日(火)・24日(水)の両日、酸ヶ湯温泉で、青森側31人、函館側22人が出席して開きました。

佐藤久雄・青森市、佐藤幸太郎・函館市の両町会連合会長がそれぞれ挨拶のあと、ことしのテーマ「今後の交流のあり方」について、両市の代表がこれまでの交流研修会の成果を披露するとともに、今後の交流の方向について意見を交わしました。その結果、平成の初めの同時期に同じツイン盟約を結んだ福祉、文化

んだら模様のポールを、12月5日から10日にかけて、各町会へ託送配布しました。

小屋などのない収集場所を対象で、申し込みのあった169町会へ計1千258本を配布しましたが、残数が142本ありますので、小屋などのない希望する町会は市町連事務局へ申し出て下さい。

選管提供の回覧「板」を配布

青森市町連は10月末、市選管提供の回覧「板」を、希望のあった110町会へ計316枚、市町連事務局で無償配布しました。残数が190枚ほどありますので、希望する町会は早目に市町連事務局に申し出て下さい。

やスポーツ団体等が、それぞれ毎年交互開催から隔年開催に移行しているなどの社会状況の変化を踏まえて平成2年10月11日に両市町会連合会がツイン盟約を締結して以来、毎年交互開催してきた交流研修会を、平成14年度からは隔年交互開催(15年は函館市、17年は青森市...)とすることを決めました。

また、町連組織全部での交流以外に、役員あるいは部会同士の交流研修会の開催を検討することになりました。

2日目24日(水)は、紅葉の城ヶ倉大橋と「ねぶたの里」を見学し、2年後の再会を誓い合いました。

盛大に女性の集い

北方都市会議と冬の室内花づくりを学ぶ

第24回「町内女性の集い」が11月9日(金)文化会館で各町内から360人が参加して盛大に開かれました。

佐藤久雄・市町連会長の主催者挨拶のあと、佐々木誠造・青森市長が「北方都市会議と市民協力」をテーマに講演されました(別稿参照)。

続いて青森市花と緑のまちづくり推進市民協議会の協力により

①冬の室内における花の管理(講師 新岡孝志氏)

②青森市緑化コンクール、冬でも楽しめるガーデニングづくり

を、鉢物の置き場所、温度、水やりなど花の種類別に詳しいお話しがあり「青森の街中に花を咲かせ環境美化の一翼を担っていただきたい」と結び、好評の裡に閉会しました。

◇市長の講演 二〇〇二年に青森市で開かれるこの会議は「冬は資源であり、財産である」をスローガンに、世界の北方都市が集まり、共通する都市問題を相互に学び合い、快適な都市づくりを目指す国際会議。期日は2月7日から10日までで、

催事の内容は①市長会議②冬の都市フォーラム③国際見本市の3部門

で、フォーラムのオープニングに宇宙飛行士・毛利衛氏が講演する。皆が知恵を出し合い、市民ぐるみで参加、世界的交流をし、世界に開かれた北方都市会議を皆でやってゆこう。

市町連4規程を制定

市町連の平成13年度第2回理事会在10月1日(月)開かれ、市町連処務規程ほか3規程の制定、町連事業上期分(4〜9月)の執行状況など報告事項を審議し承認しました。

4規程の制定は、市町連の事務処理の透明性を確保し、円滑かつ適正に行うための根拠、処理基準を規程化したもので、次の4規程です。

▽処務規程▽会計規程▽職員給与規程▽旅費規程

委員長に佐藤会長

市町連50周年事業委員会

平成15年に迎える青森市町連創立50周年の記念事業実行委員会組織会が12月10日(月)開かれ、委員長に佐藤久雄・町連会長、副委員長に桜田秀雄・副会長・兼総務部会長を選任。記念誌を発行することにし、編集委員に次の5氏を委嘱しました。

福田 正三(長島町会長、町連だより編集委員長)

森山 健二(中奥野町会長) 新谷 峰三(上三上町町会長) 三橋 文吉(幸畑団地西町会長) 鈴木 鐵栄(市町連事務局長)

2地区連合町会が受彰

交通安全パレード優良団体

12月11日(火)に開かれた交通事故防止青森市民大会で、長年にわたり安全パレードを実施している次の2地区連合町会が、青森市交通安全対策協議会長から表彰されました。

南部第三地区連合町会 24年間連続実施

南部第十地区連合町会 21年間連続実施

◆今後の行事予定◆ 1月4日 町連仕事始め

1月24日 第10回常任理事会 平成14年度事業計画の方針審議ほか

2月13日 女性部長会議 地区代表委員・町連女性部会員選任ほか

2月中旬 町連各部会 平成14年度事業計画の審議

哀悼録

東奥野第二町会長 中村 滋朗殿 (平成13年11月6日逝去) 唐橋町会長 葛西 成治殿

(平成13年12月20日逝去) 謹んで哀悼の意を表します。

◆執行部・事務局日誌◆

10・1 第2回理事会(文化会館) 町連処務規定の制定審議ほか

10・5 理事と部会員の合同研修会(文化会館) (担当・総務部会)

10・17 福島市町内会連合会と交流(しあわせプラザ)

10・17 第8回常任理事会(しあわせプラザ) 青函町連ツインシティ交流研修会の進め方ほか審議

10・23、24 青函町連ツインシティ交流研修会(酸ヶ湯温泉) (担当・総務部会)

11・9 第24回町内女性の集い(文化会館) (担当・女性部会)

11・27 町連だより第161号編集委員会(プラザあすなろ)

12・10 第9回常任理事会(しあわせプラザ) 平成13年度各部会事業の実施結果審議ほか

12・10 町連創立50周年記念事業実行委員会組織会(しあわせプラザ)

12・21 町連だより第161号編集委員会(プラザあすなろ)

12・28 町連仕事納め

◎編集後記◎ 希望に明けた新世紀は、街路灯の市への移管、資源ごみの分別収集の開始など、町会事業が多難の年でした。年明け2月の北方都市会議には市民の総参加が求められており、来年は市町連が創立50周年を迎えます。町連だよりはローカル情報の提供が課題です。今年も午、天馬・空を行くの意気込みで頑張ります。

(S・F)

Table with 1 column labeled '回覧' (Review) and multiple empty rows.